

宮沢賢治

銀河鉄道の夜

(前編)



漫画：夏色ノ箱

銀河鉄道の夜

宮沢賢治

漫画：夏色ノ箱

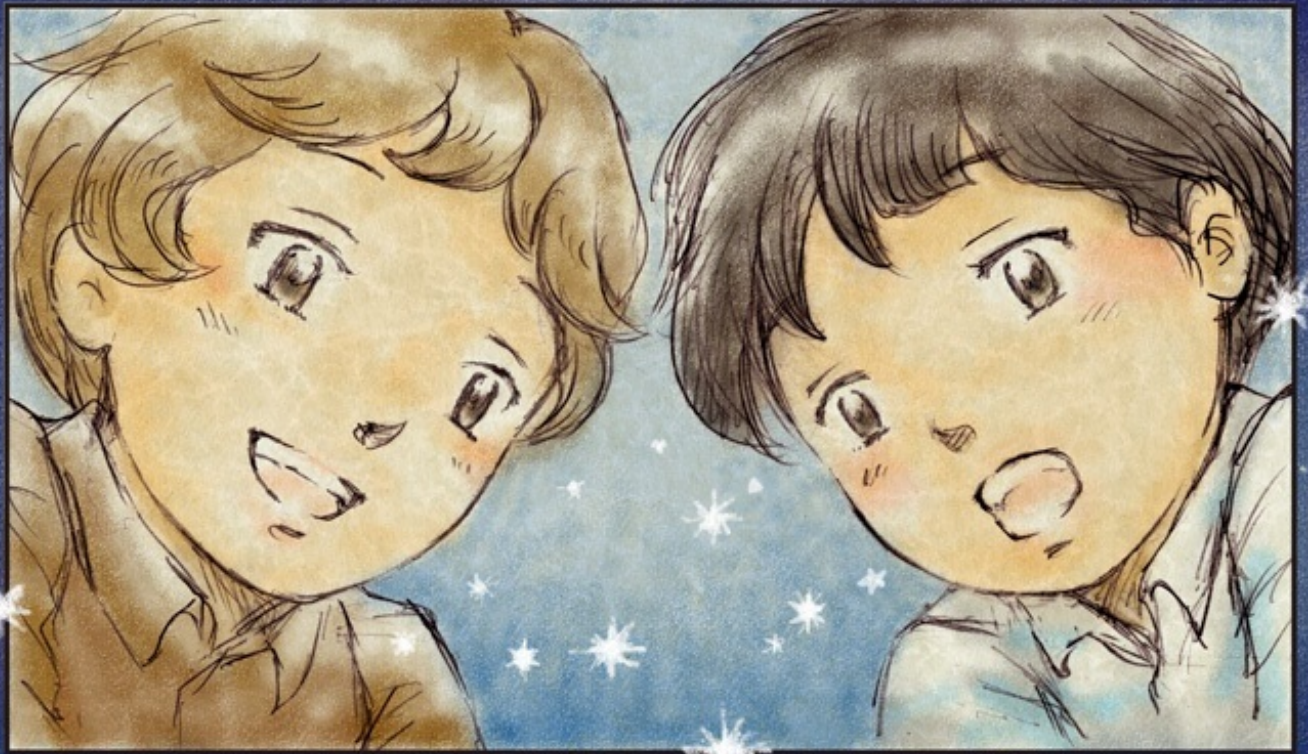


たしか、ここに
のっていたんだ！
お父さんの本に

大丈夫、
あとで元の所に
戻しておくよ

ぎゅ…ぎゅ…

ぎんが



では、
質問です

川だとか、
乳の流れたあとだと
云われたりする
この白いもの

望遠鏡で
よつく調べると、
銀河はだいたい
何でしょう？

ジヨバンニさん？







この白い銀河を
大きな望遠鏡で見ますと
もうたくさんの小さな
星に見えるのです。



?

では、
よし。



真空というものが、
その川の水に
あたるわけです。

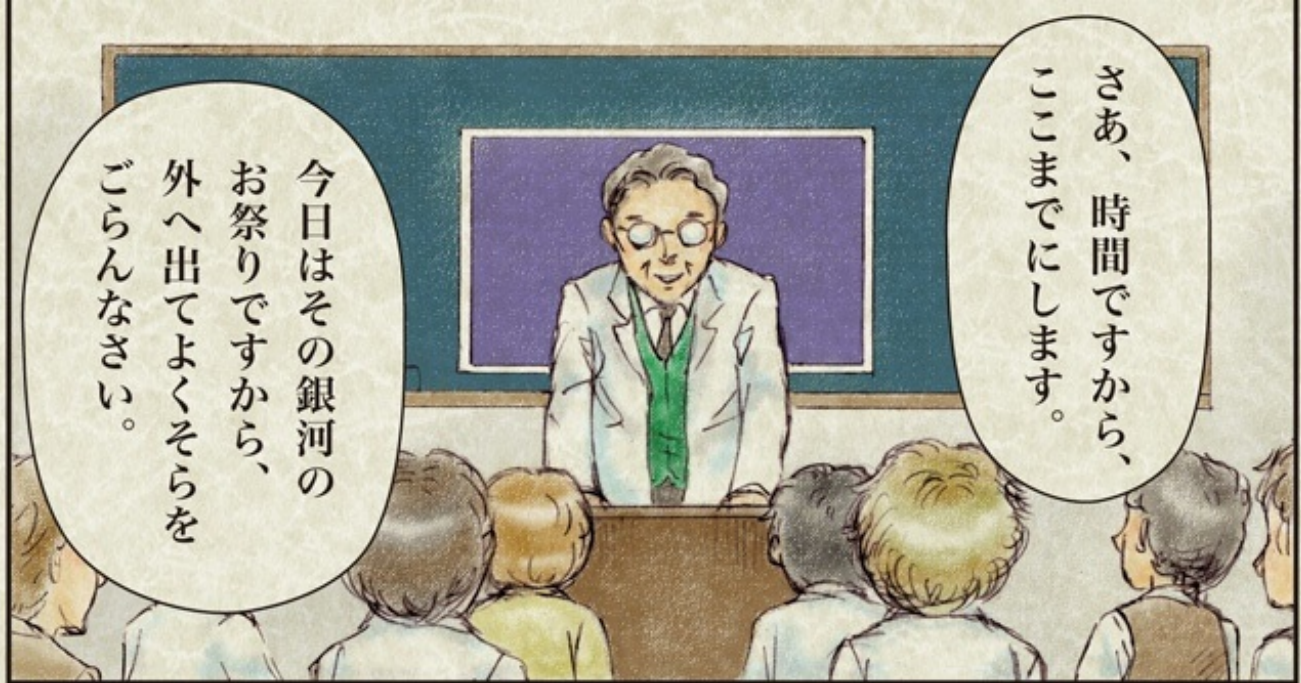
ここを川とたとえると、
その一つ一つの星は
川のそこの
砂利にあたります。

私たちの太陽や地球も
やっぱりその川の中に
浮^{うか}んでいます。

ちようど、水が
深いほど青く
見えるように、

天の川の深く遠い
ところほど星がたくさん
集^{あつま}って、白くぼんやり
見えるのです。

銀河というのは
凸レンズの形ですから、
その一番端のほうが
天の川なのです。











ただいま!



お仕事が
ひどかったろう。

ああ、
ジヨバンニ



今日は涼しくてね、
ずっと具合がいいよ。

お母さん、
具合はどう?



今日は角砂糖を
買ってきたよ。

牛乳に入れて
あげようと思って。

ああ、お前
先におあがり。



お母^{つか}さんの牛乳
来ていないね。



ぼく、行って
取ってくる。

あとでいいよ、
先にお食べ。





ねえお母さん

ぼく、お父さんは
もうすぐ帰ってくる
と思うよ。

北の方の漁は
たいへん良かったって
新聞に書いてあったよ。



監獄になんて
入ってるわけない。

約束したんだ。
ラッコの上着を
持って帰るって
くるって。



だけどね、
お父さんは
……

帰ってくるよ！

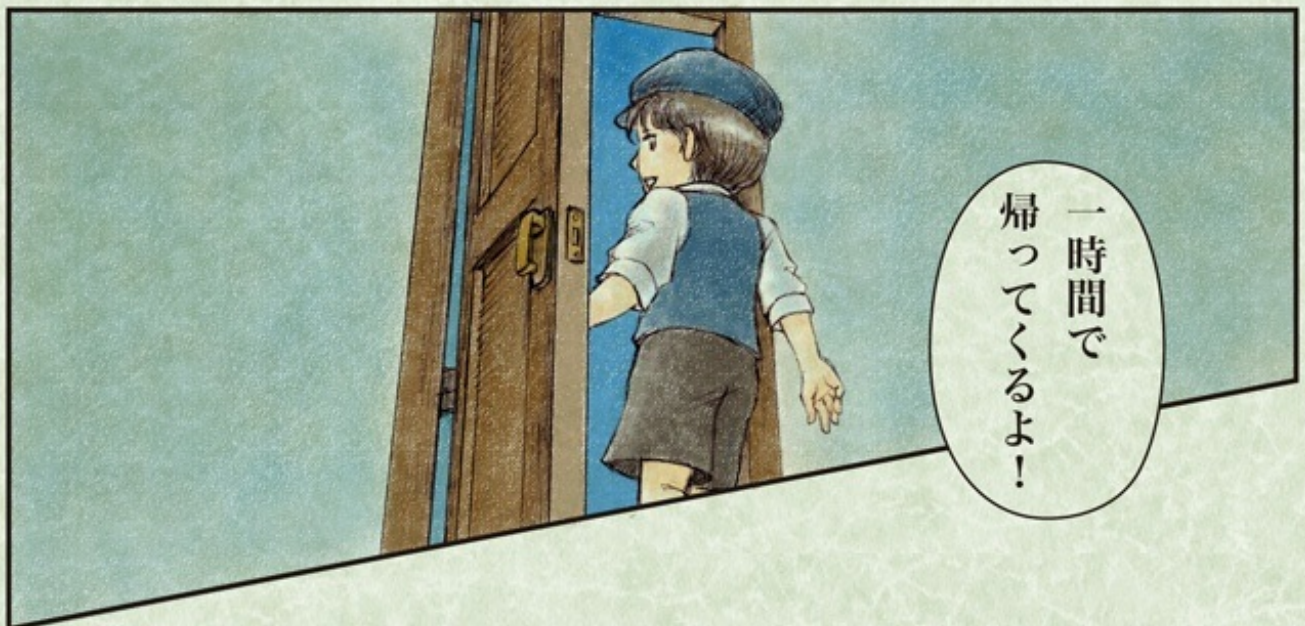


そうだ、
銀河のお祭りは
今日だったねえ。
遊んでおいで。



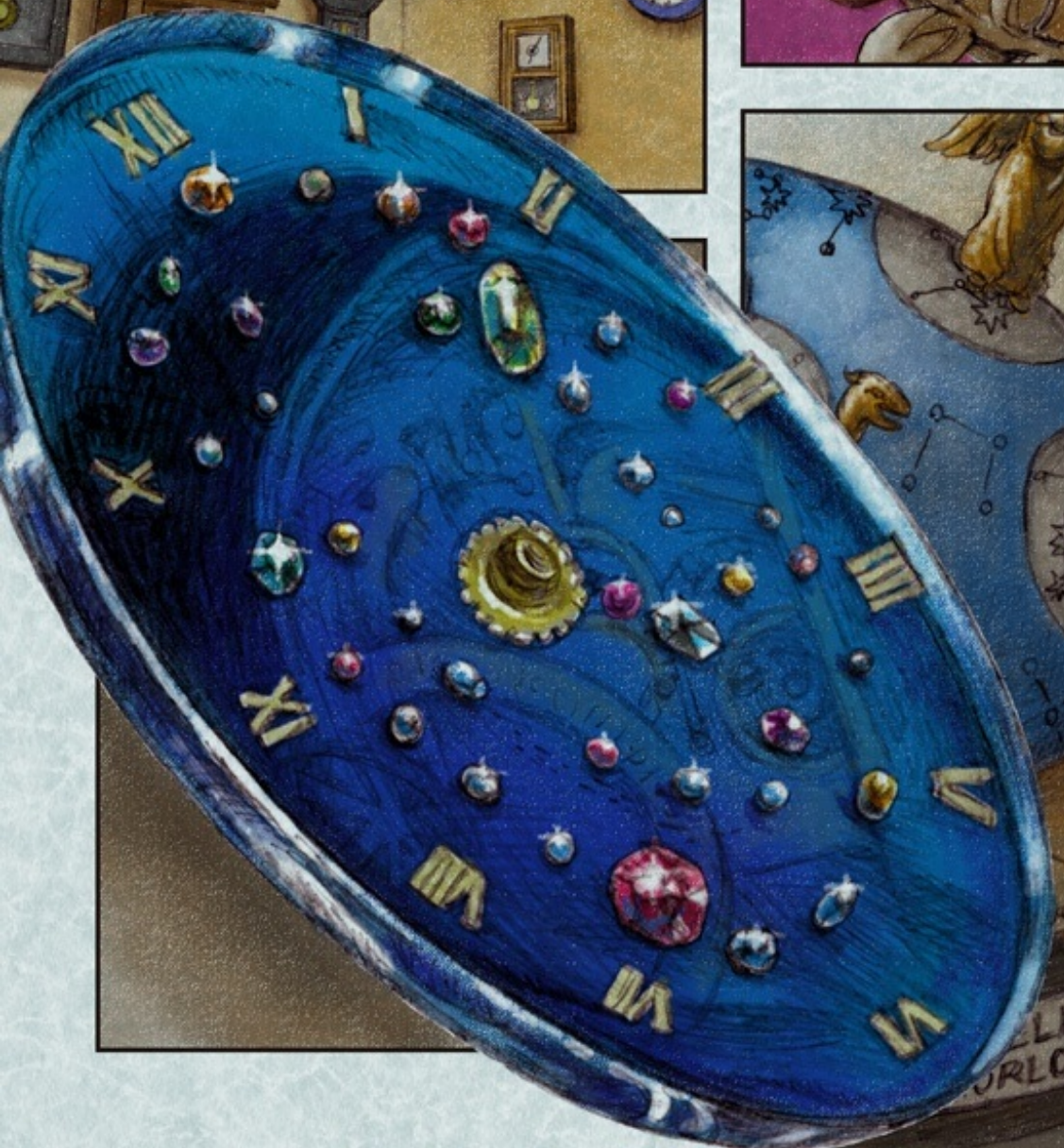
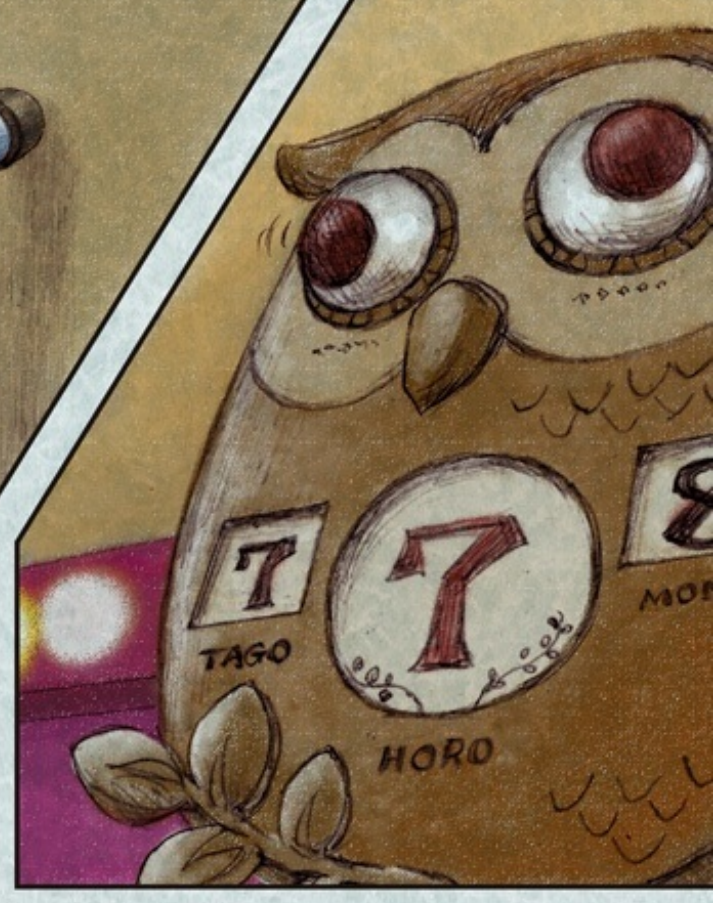
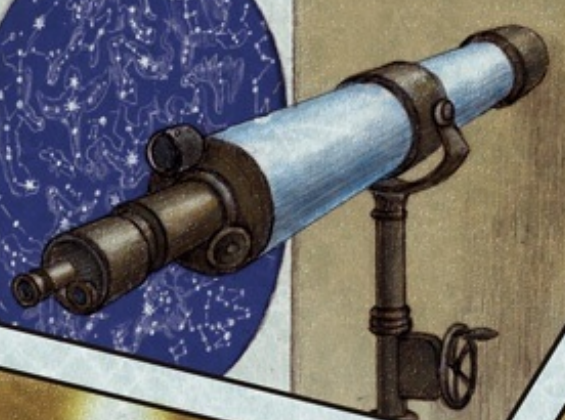
ああ、川へは
入らないでね。

うん、烏瓜からすうり
流すんだって。
ぼく、牛乳を
取りながら
見てくる。



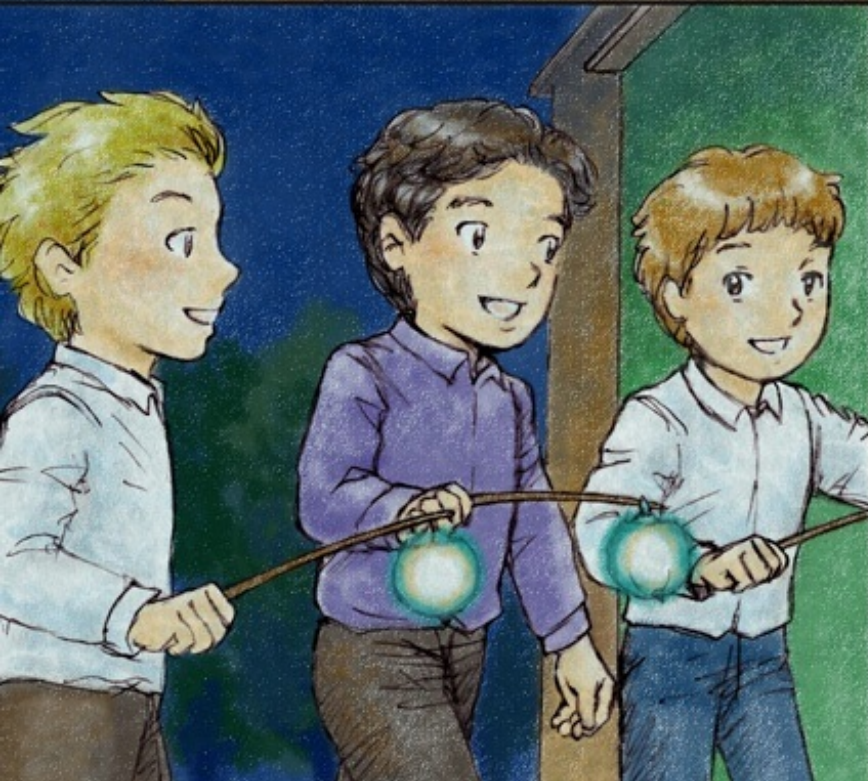
一時間で
帰ってくるよ！







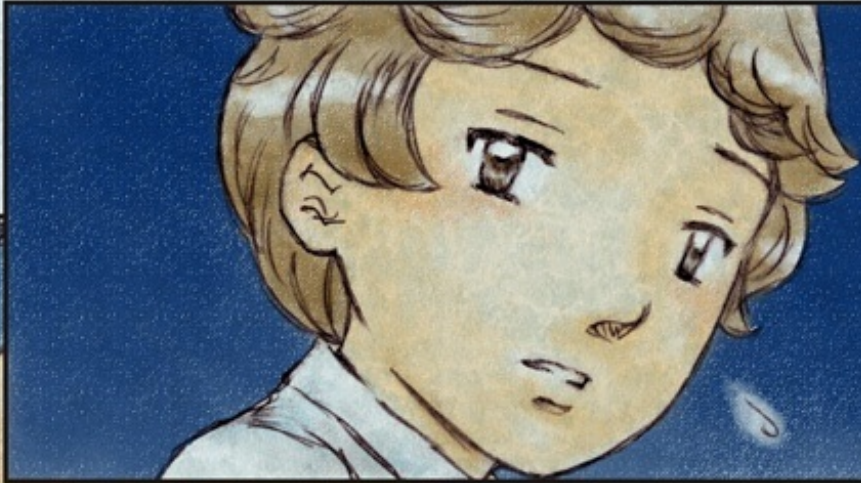








ジョバンニ、
ラッコの上着が
来るよ！









あれは本当に
星だろうか？

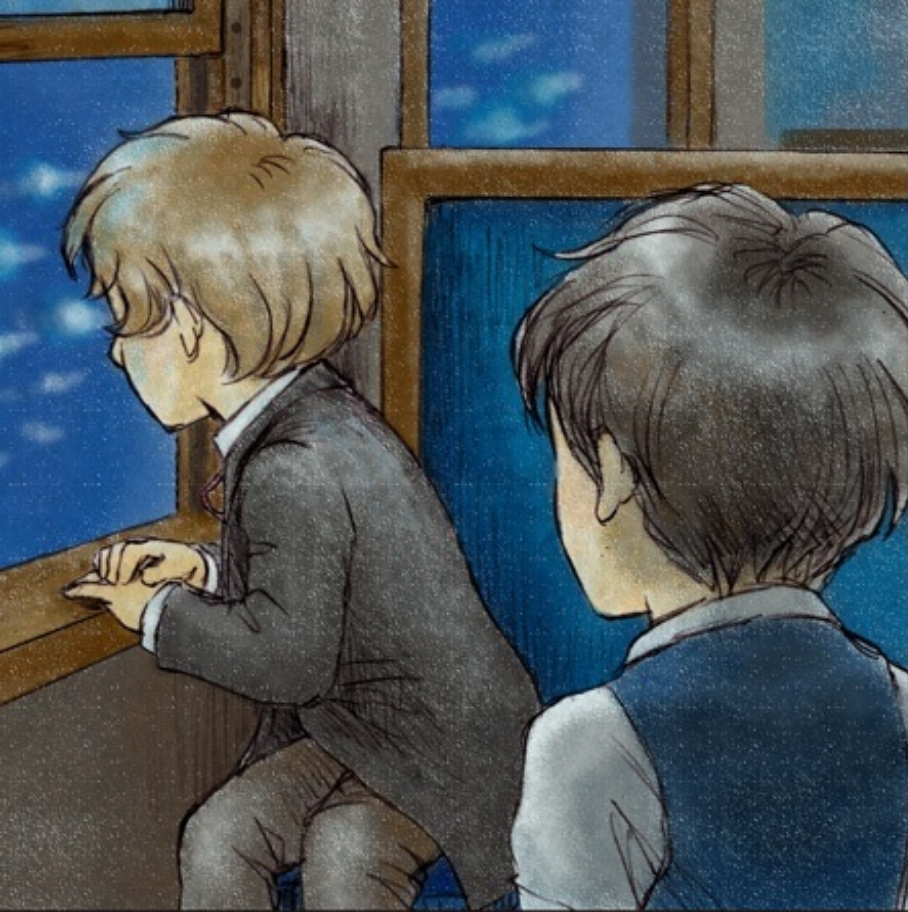




銀河ステーション

銀河ステーション！



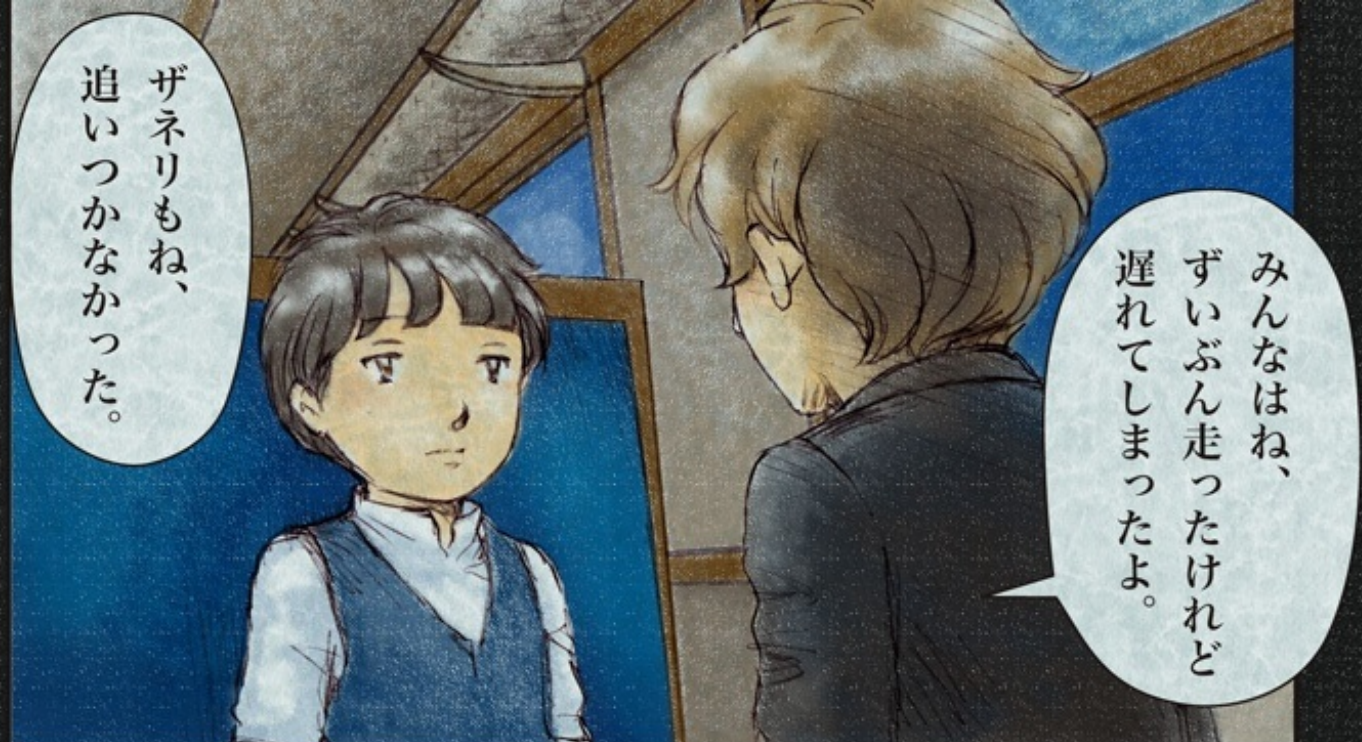


君は、
前から
ここに？



カムパネルラ！





ザネリもね、
追いつかなかった。

みんなはね、
ずいぶん走ったけれど
遅れてしまったよ。



もうじき白鳥の
停車場だね。



そうだ、ぼくたちはいま、いっしょに
さそって出掛けたのだ。



それどこで
買ったの。

黒曜石で
できてるねえ！



銀河ステーションで。
君もらわなかったの？



CYGNUS

NORDA
KRUCO

LYRA

AQUILA





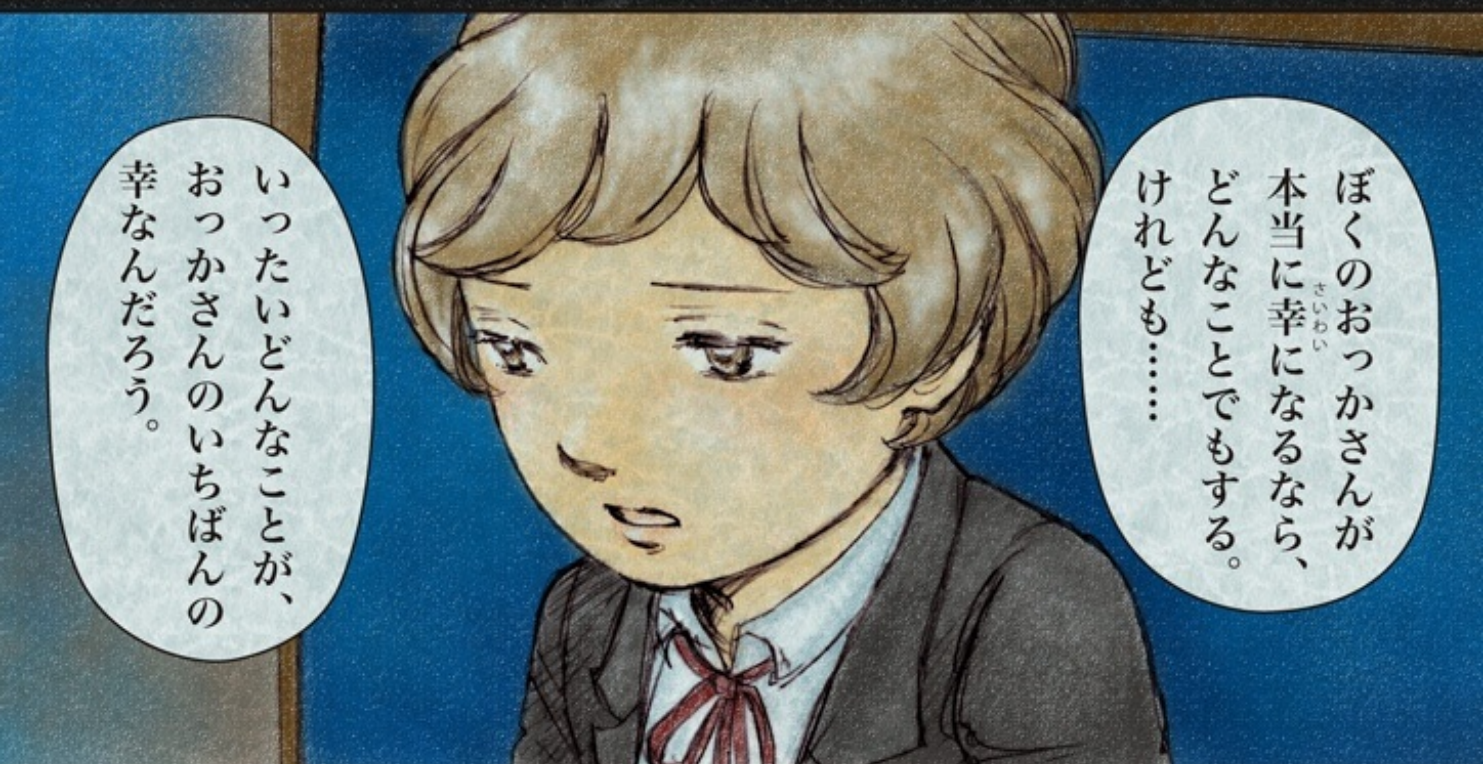




えっ。



おっかさんは、ぼくを
ゆるして下さるだろうか。



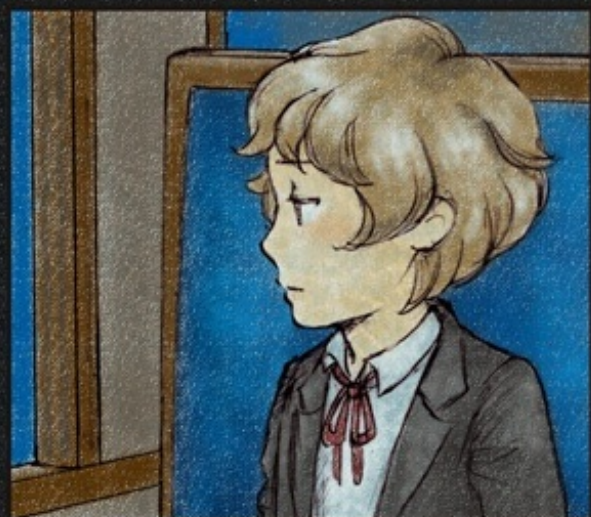
ぼくのおっかさんが
本当に幸さいわいになるなら、
どんなことでもする。
けれども……

いったいどんなことが、
おっかさんのいちばんの
幸なんだろう。



きみのおっかさんは、
なんにもひどいこと
ないじゃないの。

……

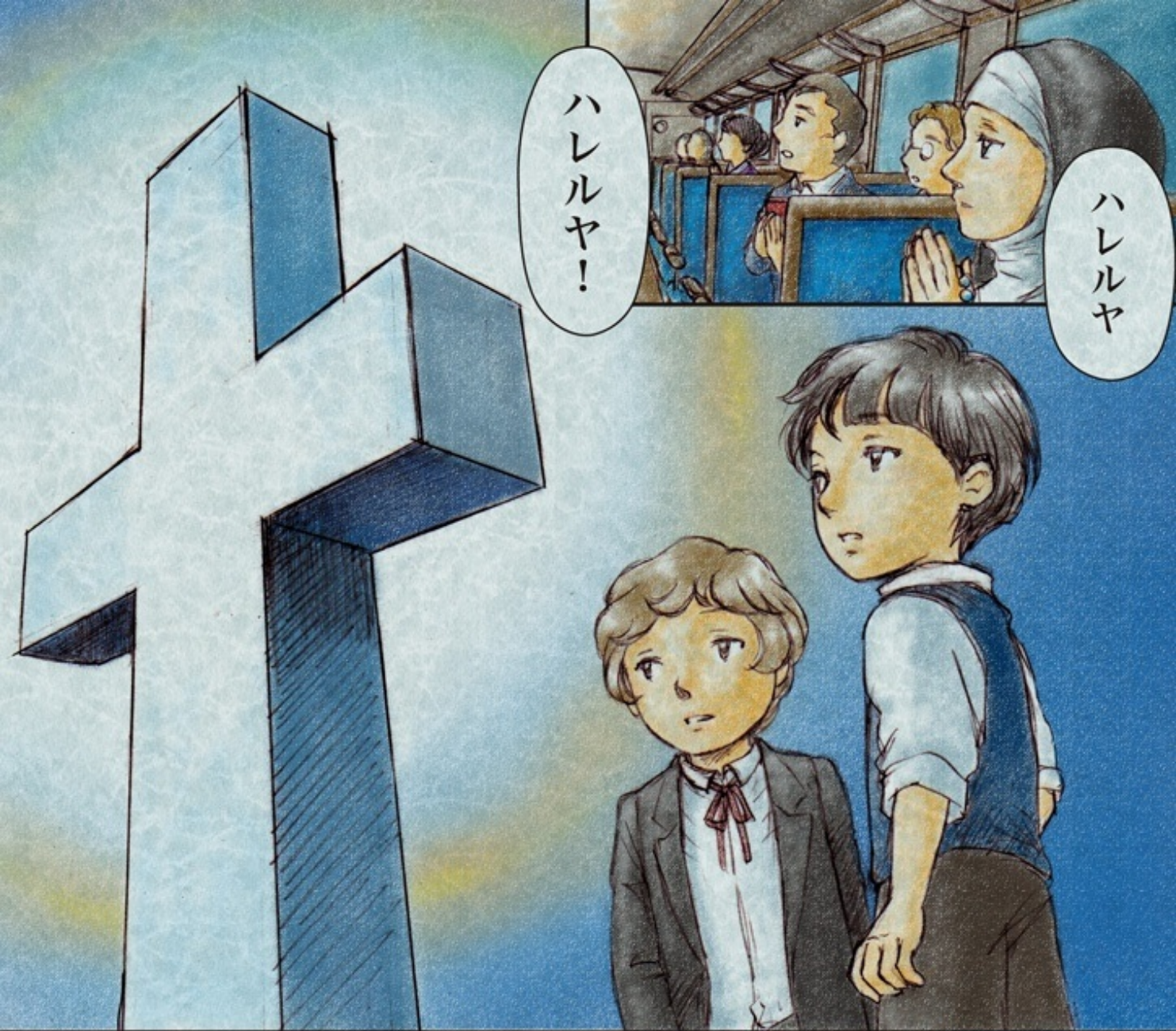




ぼくわからない……。

けれども、誰だって、
ほんとうにいいことをしたら
いちばん幸なんだねえ。





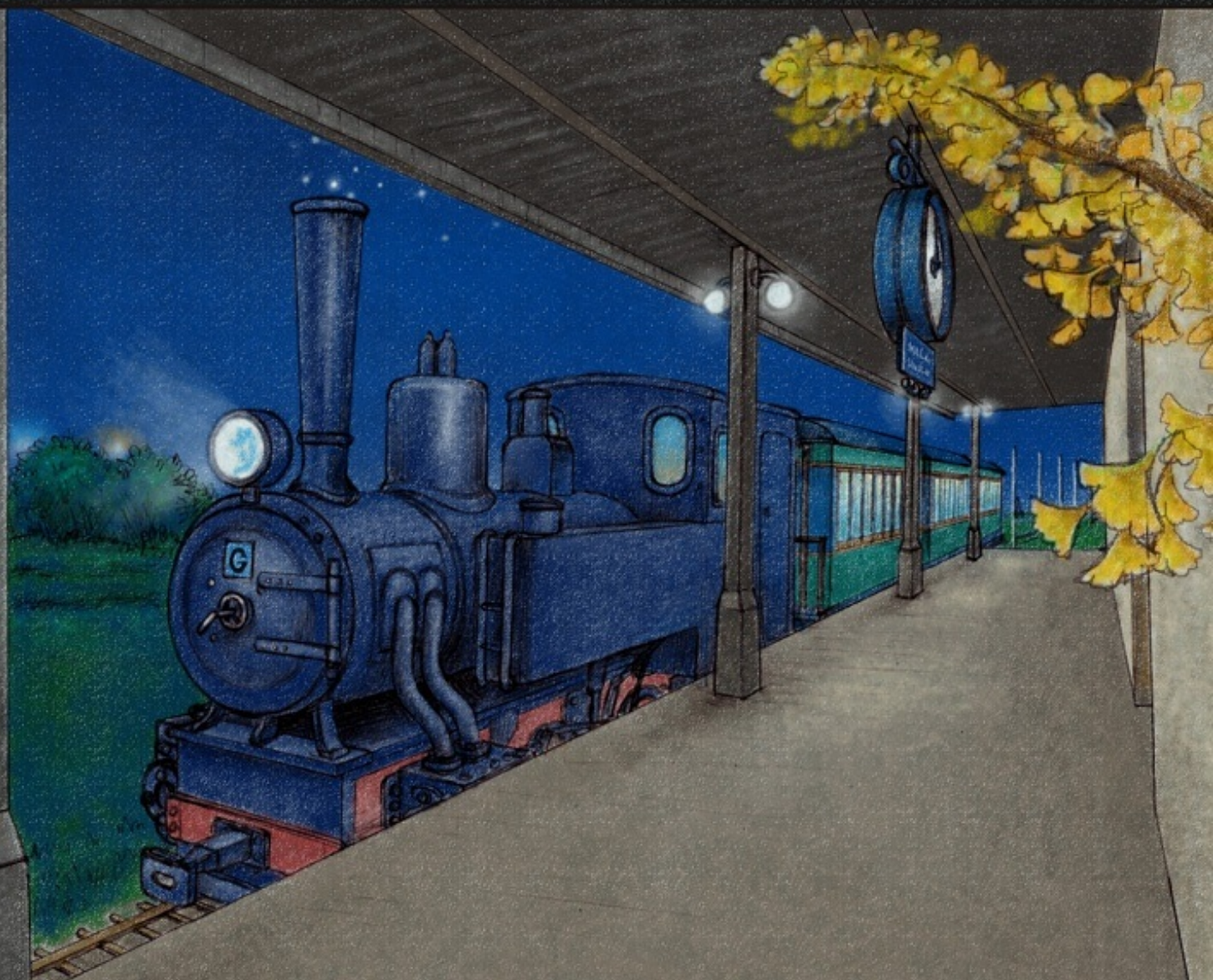
ハレルヤ!

ハレルヤ





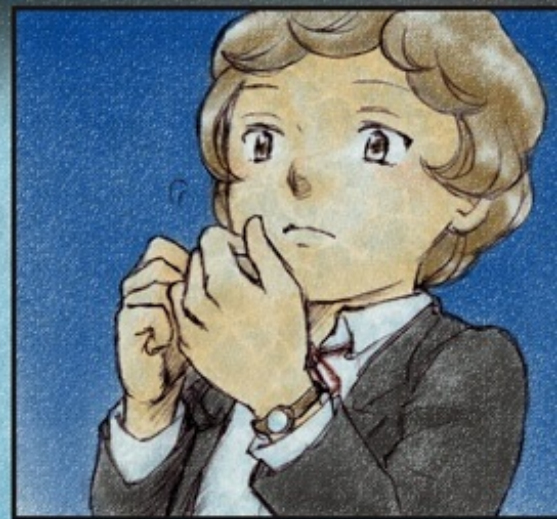
11時かつきりには
着くんだよ。



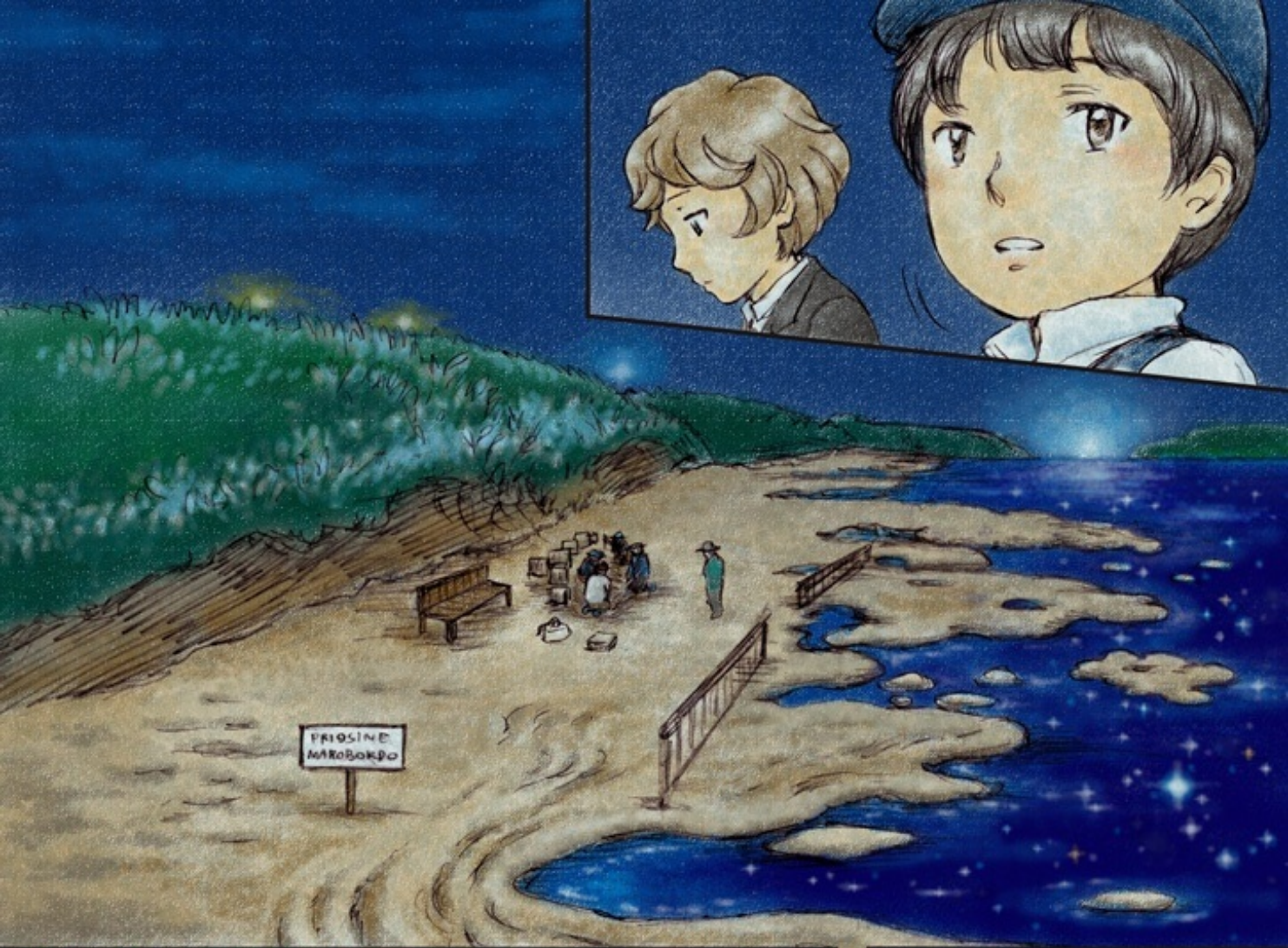




中で小さな
火が燃えている。



この砂はみんな
水晶だ。



行ってみよう！

いかんいかん！



もっと遠くから掘りたまえ！





くるみがたくさん
あつたろう。
ざつと百二十万年
くらい前のものさ。

ここは第三紀の
ころは海岸でね、
この下からは貝も出る。



君たちは、
参観かね？





あのけものは
ボスといってね。
牛の先祖で、昔は
たくさんいたさ。



いや、証明するに
いるんだ。



標本に
するんですか？



ぼくからから見ると
ここは、立派な
百二十万年前の
地層だ。

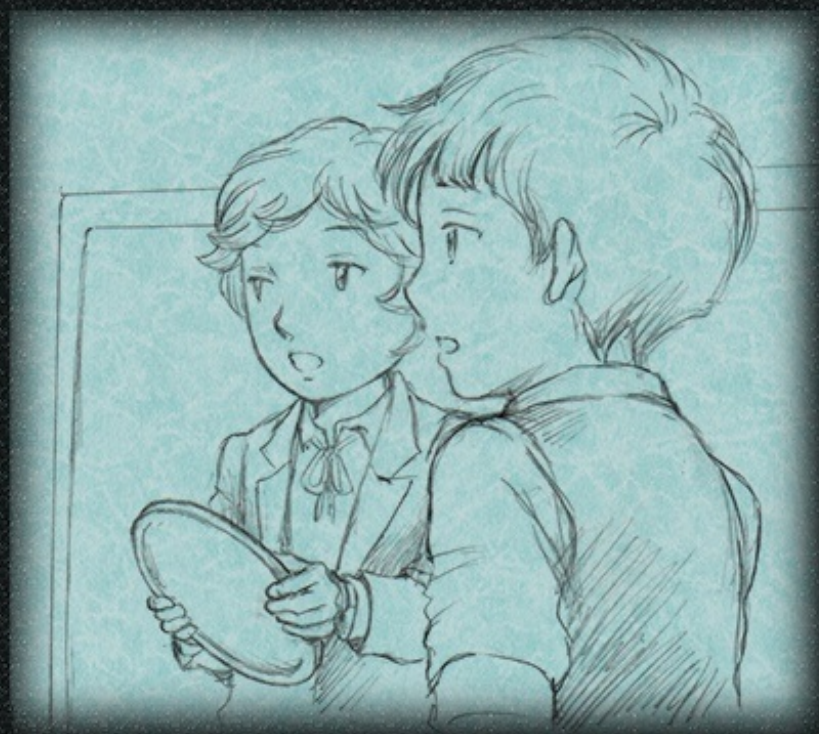
だけど、他のやつから
みてもやっぱりそうか？
あるいは風や水や
がらんとした空気に
見えやしないか？





「銀河鉄道の夜」 前編

おわり。



後編へつづく。

(後編は電子書籍サイト「パブー」にて好評販売中。)

<http://y.natsumuseum.com/>

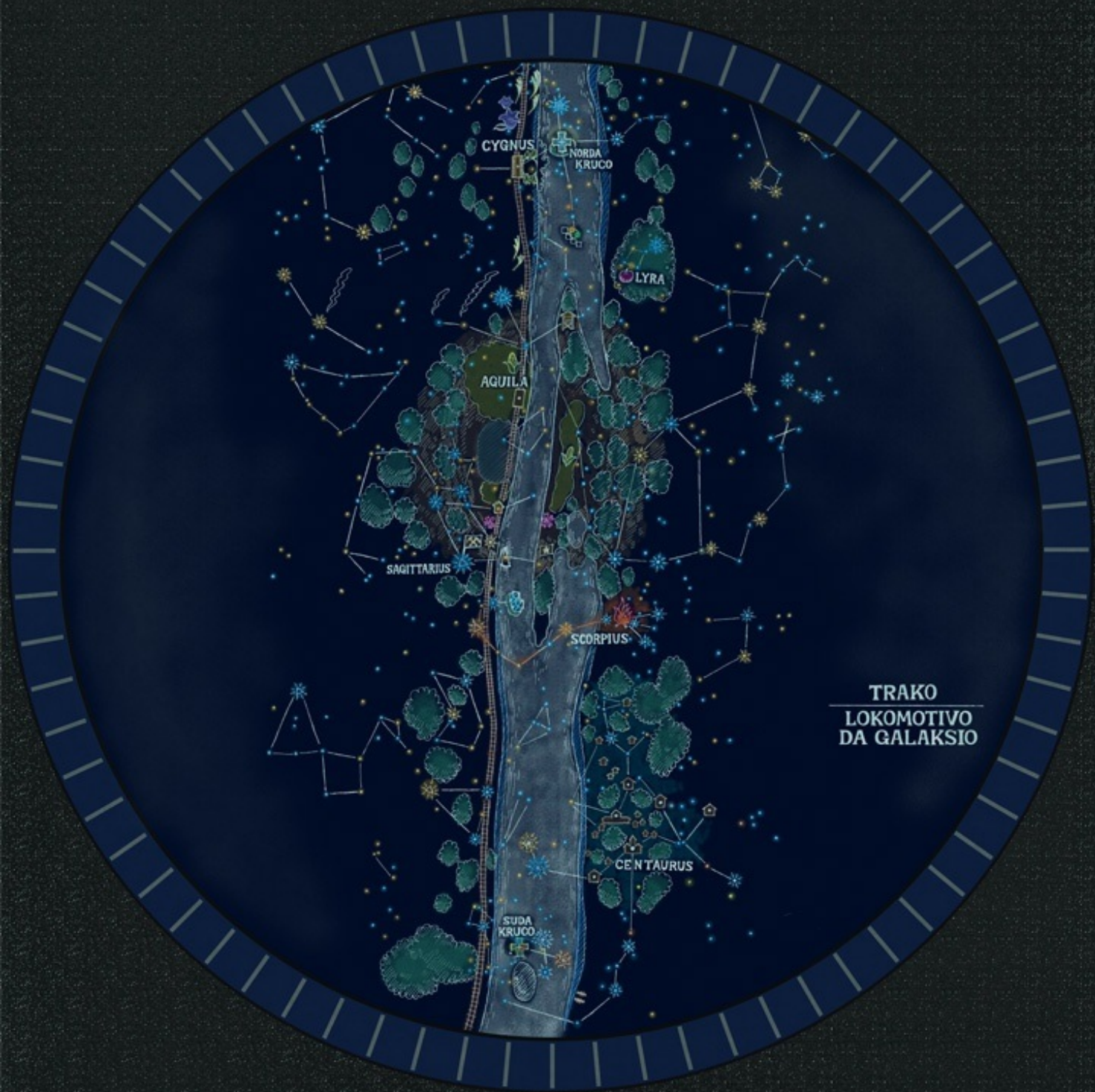
★おまけ付録★

カムパネルラの 黒曜石銀河鉄道路線地図



作中に登場した、銀河鉄道の路線地図を収録。

(距離の感覚など、原作の文章と一致しないところもありますが、実際の星座の位置を優先して作成しました。)



**TRAKO
LOKOMOTIVO
DA GALAKSIO**



CYGNUS

NORDA
KRUCO

LYRA

AGUILA

SAGITTARIUS

SCORPIUS

CENTAURUS

SUDA
KRUCO

TR
LOK
DA GA

銀河鉄道の夜（前編）

<http://p.booklog.jp/book/41237>

著者：夏色ノ箱

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/natsuironohako/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/41237>

ブックログのpapier本棚へ入れる

<http://booklog.jp/puboo/book/41237>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのpapier（<http://p.booklog.jp/>）

運営会社：株式会社paperboy&co.